

近隣住民と公園・集会所 運営・利用について協議

ポラス グループ 中央グリーン開発 新規分譲地

コミュニティづくりで新たな挑戦

ポラスグループの中央グリーン開発が戸建分譲地「パレットコート北越谷 フロードヴィレッジ」(全64邸)において、住民のコミュニティづくりにおいて入居者に限定するのではなく、その周辺の住民は対象を広げるという新しい試みを行っている。

中央グリーン開発は分譲地の入居者に対して、入居者交流会や住民交流イベントのサポートなど、住民のコミュニティづくりを丁寧に行っている。

また、最近では、パレットコート七光台(全1036邸)の旧販売事務所を再活用し、住民が参加できるコミュニティカフェを完成させ、住民の多くが利用している。

このように中央グリーン開発は入居者交流を積極的に支援している。その中央グリーン開発が住民のコミュニティづくりで新たな試みを行っているのは、埼玉県越谷市で3月3日から販売を開始する戸建分譲地「パレットコート北越谷 フロードヴィレッジ」の中に設ける公園と

集会所について、隣接する住民と一緒に設計・運営を考えていく場へ「未来会議」として、2017年10月7日に1回目を、この2月17日に4回目を開催した。

隣接する住民からは、「パレットコート北越谷 フロードヴィレッジ」の入居者と一緒に公園や集会所を使用することが

ら、様々の意見やアイデアが出されている。「パレットコート北越谷 フロードヴィレッジ」はほぼ1年を掛けて販売が行われるが、入居者と近隣の住民も含めた交流について、いままでは本格的に行われたことがないだけに、具体的にどのような形で進められるか興味深い。



近隣住民との〈未来会議〉の様子



工事が進む「パレットコート北越谷 フロードヴィレッジ」



分譲地内のモデルハウス(2棟)